

真人の風

第 84号(不定期)
(令和 8年3月25日)
(全戸配布)
渡邊作成最終号
地域づくり 84号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel. 86-3002

地域の人口推計検証

真人町人口推計

平成30年に作成した真人町の人口推計では、過去の国勢調査のデータを基に将来の人口推計を行いました。図1で2025年(当時)は平成37年表記の推計人口は887人を推計し、2025年3月末の小千谷市住民基本台帳での人口は874人でした。13人の誤差ではありませんがほぼ推計の数値となっています。

【人口推計見直し】

その後、令和2年度に実施された国勢調査の結果により将来推計を見直し、図2のように将来推計を行いました。2030年の人口推計値は図1の平成30年推計では750人でありましたが、図2の令和3年の見直し後の推計値は720人となり、人口減少は僅かではありますが加速している傾向となりました。

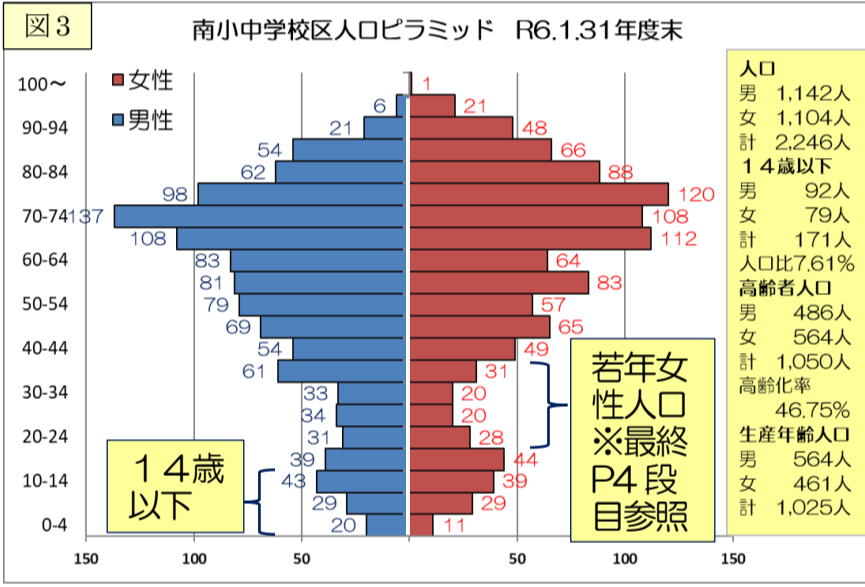
【14歳以下の減少著しい】

地域では少子高齢化が加速していますが、この人口減少の加速では、特に気になる所が14歳以下の人口減少です。

図1の令和12年の15年前は226

図2 真人町人口推計	国勢調査から将来人口推計 R3年作成					図1 真人町人口推計	国勢調査から将来人口推計 H30年作				
	2005年(A) 平成17年	2015年(B) 平成27年	2020年(C) 令和2年	2030年(D) 令和12年	2035年(F) 令和17年		2000年(A) 平成12年	2010年(B) 平成22年	2015年(C) 平成27年	2025年(D) 平成37年	2030年(F) 平成42年
合計	1,562	1,206	1,008	720	599	合計	1,754	1,378	1,206	887	750
0~14歳	174	97	72	42	33	0~14歳	226	114	97	64	51
15~64歳(A)	860	639	488	316	246	15~64歳(A)	987	761	639	427	350
65~74歳	264	186	209	138	117	65~74歳	316	192	186	179	144
75歳~	264	284	239	224	203	75歳~	225	311	284	217	205
85歳~(B)	54	100	99	70	72	85歳~(B)	47	96	100	89	68
高齢者率	33.8%	39.0%	44.4%	50.3%	53.4%	高齢者率	30.8%	36.5%	39.0%	44.6%	46.6%

R7年国勢調査結果公表後見直し予定



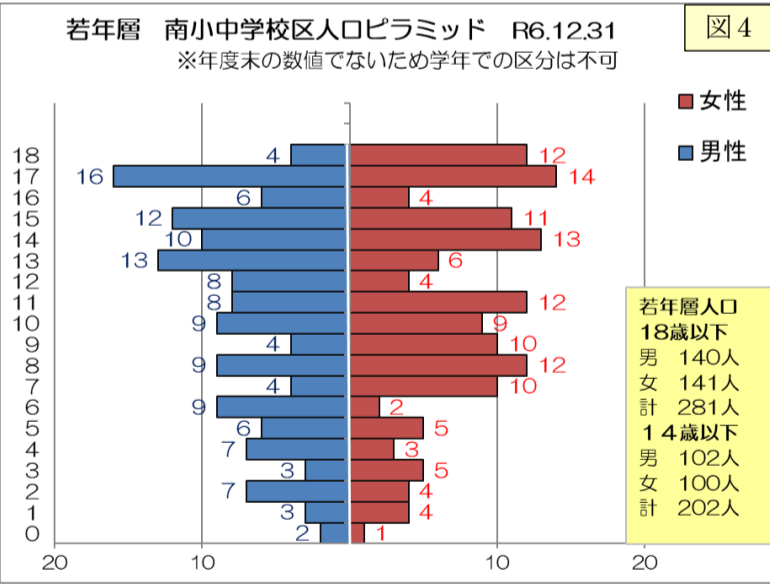
人でしたが15年後には約6割減の97人となり、その後の15年後には図2の平成27年の97人から約55%減少の42人を推計しました。更に令和7年から10年後の令和17年には33人と推計しています。単純に1年当りの平均人数では(33人/年)14・2・36人です。※2030年高齢者の推計値も増今後R7年国勢調査結果の公表で見直し後、比較検証を予定【学校区では】令和6年に作成したデータから見上は市外への人口流出で34歳以下までの若者が地域からいなくなっています。当然にして子供が少なく、生産人口も減少した超少子高齢化で、問題や課題の対応が必要とされています。図4では18歳以下の人口構成が見られます。6歳以下から一段と人数が少なくなっています。昨年には小千谷市立小中学校の在

買物バス運行

4月9・16・30日
木曜日シルバースデー

原信桜町店への運行を4月も試行として3回の運行をします。皆様お誘い合わせてご利用ください。

集合時間 9時30分
集合場所 真人ふれあい交流館
買物先 原信桜町店
申込み 真人ふれあい交流館
TEL 86-3002



り方検討委員会が設置され、その答申がなされ、これを受けて南小・中学校のこれからを考える地区懇談会が開催されました。【学校統合の議論は】地域事情など色々な要素もあり、安易に統合との声も出しにくい状況ではあります。今後、生徒・児童と保護者の考えや気持ちを大事に進められたらと考えます。

温泉送迎バス

4月22日(水)運行
千手温泉千年の湯

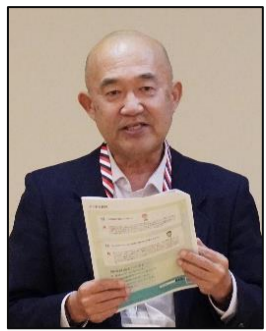
冬期間は運行先を千手温泉として送迎してきました。利用者様のご意見をお聞きしまして、4月も運行先は千手温泉で運行します。皆様のご利用をお待ちしております。

集合時間 10時00分(出発)
集合場所 真人ふれあい交流館
行き先 千手温泉
帰りの温泉発時刻 15時30分発

申込み期限 4月17日(金)
申込先 真人ふれあい交流館
問合せ先 TEL 86-3002
申込内容 氏名、町内名、電話番号、乗車場所をお伝えください
利用料金 実費相当の寄付四百円以上の寄付をお願いします
対象者 真人里地住民を対象
申込人数 9名先着順 5名未満の場合は中止します。その際は関係者に連絡します。
※送迎費用のほかの経費は各人の支払いとなります。
※5月は農繁期のため休止予定です

申込内容 お名前、町内名、電話番号、送迎の有無を伝える
利用料金 実費相当の寄付
4百円程度以上をお願いします。
対象者 真人里地・芋時町内住民
申込人数 運行一回9名
申込期限 各運行日の3日前月曜
※3日前の月曜日が休日の場合は金曜日までに連絡願います
問合せ先 真人ふれあい交流館
TEL 86-3002

新地域づくり支援員 久須美徹也 真人地区担当



令和8年度から就任する真人地区担当の地域づくり支援員が決まりました。

地域づくり支援員に就任する久須美氏は、小千谷市役所の会計課長、監査委員事務局長を歴任し、令和6年3月に役職定年後、同年4月以降は農林課農政係で担い手・認定農業者・新規就農者などを担当し、地域計画の策定にも携わり、昨年の12月18日に真人里地で開催された農業者会議において地区計画の変更の説明、聞き取りなどを行ってまいりました。

現在の住所は本町2丁目自宅で農家ではありませんが真人地区の問題・課題解決による地域づくりを進めて参ります。

就任後に自己紹介が行われると思いますが、住民の皆様には絶大なるご理解とご協力をお願いします。



12/18農業者会議 説明・聞き取りの様子

子育て世代交流 茶話会実施

茶話会実施

地域の子育て世代を中心に3月1日(日)の午前に真人ふれあい交流館で茶話会を実施し、子供たちの学年等を超えた3年目の交流を行い、大人6名に子供5名が集まりました。

地域の中でも同級生がいなかったり、地区外の学区などへの通学もあつたりで保護者同士の話をする機会や交流も少ない中ですが、共通する話や相談の機会になり、終了予定時間をオーバーしての盛り上がりとなりました。

また、話題となっている今後の学校の在り方についても話題となり、集まった保護者の気持ちは「多人数の子供のいる環境の中で学ばせたい」とのことでした。

参加した子供達も楽しく過ごされていました。短い時間ではありましたがご参加いただきました皆様ありがとうございました。



おやつタイム

皆で話して

皆で決めて

皆でやる!!

もってホットに

まらっぞまらっぞ!!



専属の子守り役がおりれましたので、広いところで遊び子供達を気にしないで、保護者同士がゆっくりと話が出来る喜びが生まれました。

【参考】生徒の考えた

学校統合について事例

茶話会でも話題となった学校の在り方について、令和4年10月7日に市内中学生を対象に行われた「みらい議会」での当時の南中学校中島佑季さんの発言がありましたので、生徒の考えとして参考に紹介します。

「小千谷市内の中学校の統合について」

私は「小千谷市内の中学校の統合」について質問します。

小千谷市でも少子高齢化が進み、中学生の人数は年々減少しています。それに伴い、小規模校が増えてきているのが現状です。そこで小規模校の統合について小千谷市でも考えていくべきだと思います。

初めに、小規模校の実態について説明します。まずはメリットです。人数が少ないからこそ細やかな授業を受けることができたり、活躍の場が多くあったりと様々なメリットがあります。しかし、その反面、部活の選択肢が少ないことや、一人一人の仕事の負担が大きいこと、クラス

内でトラブルがあった時に逃げる場所がないことなど、たくさんのデメリットもあります。

そこで質問の一点目です。小規模校には今あげたような様々なメリット、デメリットがあります。それを踏まえて私たちの学校のような小規模校の現状についてどのような認識をお持ちですか。

私たちは現在中学三年生、受験生として日々、勉強に勤めています。そんな私たちが小規模校に不安なこととは、進学や就職をしてからのことです。私たちは、保育園児の頃から同じメンバーで小学校、中学校と上がってきました。ですから、他の地域の人の関わりが少なく、少人数であることに慣れてしまっています。そのため、高校に進学した際、初めてのうちは大人数の環境になれず、うまくやっていけるか不安になるでしょう。私たちは今まで約十年間一緒に過ごして来てその人の性格や友人関係などある程度把握しています。ですから、これから先、高校や職場で出会うであろう多種多様な性格や個性を持つ人々への接し方に困惑してしまうと思います。

そこで質問の二点目です。先述したことから小規模校の統合について小千谷市でも検討すべきではないでしょうか。

もちろん、学校の統合は簡単なことではありません。南小学校を統合した時も、学校という地域のシンボルがなくなったり登下校が不便になったりすることなど不満の声が上がりました。加えて、「学区制」という問題もあります。たしかに、学区を定めたからにはその学区内の学校に通うことはルールとして大切かもしれませんが、今の小規模校の現状を見て本当に学区制を守るにだけ大切なことだと言えるのでしょうか。無理に学区制を守っていると、これからの中学生は先の将来にたくさん不安を抱いてしまうのではないかと考えました。たとえば、統合したとしてもその地域から中学生がいなくなるわけではありませんし地域とのつながりは消えません。このことを踏まえて小千谷市内の統合を検討すべきだと思います。

皆やんならうらやうら 回答しますか

回答しますか

部活動の民間移行などによる登下校の状況や、学区制での対応も当時とは変わってきていますが、皆さんならこの質問にどのようにお答えしていきますか?

支援員の渡邊も高校入学の時、当時の真人中学校から二人で進学し、クラスも別の中、面識のない新しい39人の同級生との不安な学校生活をスタートさせたことを思い出しました。加えて、小学校(分校)、中学校2年分校・3年の時に統合まで少人数で学年を超えた上下関係が稀薄でしたので、高校に入ってからの上下関係には慣れなかったことも思い出させられました。また、昭和43年真人中学校統合時には、分校31名から93名になり、不安も多く、学生寮が出来るまでの宿泊環境等は悪かったですが、大人数の中で学べて良かったの思いがあります。(渡邊)

真人の風

(令和 8年3月25日)
(全戸配布)

おしらせ版32号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel. 86-3002

平成8年度役員体制

2月25日夜に真人ふれあい交流館で今年度の役員と次年度の予定役員の関係者が参集し、令和8年度の役員体制を決めました。

○真人町里地振興協議会

会長 藤巻 尚郎(石名坂)
副会長 渡邊 雅明(石名坂)
藤巻 義孝(栗山)

監事 田中 益美(中山)

※14年間振興協議会会長を務めました瀧澤功氏は退任となります。お疲れさまでした。(次号に挨拶掲載予定)

○真人地区町内会長協議会

会長 藤巻 尚郎(石名坂)
副会長 渡邊 雅明(石名坂)
保科 文秋(若栢)

幹事 藤巻 義孝(栗山)
田中 健一郎(芋時)

監事 田中 益美(中山)
永井 尚夫(芹久保)

各町内会長

上沢 福原 栄(新任)
万年 引馬 茂夫(再任)
栗山 藤巻 義孝(新任※)
三羽 和明(新任)

本村 大窪 彰(新任※)
源藤山 稲餅 芳栄(新任※)
石名坂 渡邊 雅明(新任※)
中山 田中 益美(新任)
芋時 田中 健一郎(新任※)
市之沢 渡邊 幸一(再任)
山新田 山賀 良雄(再任)
芹久保 永井 尚夫(再任)
若栢 保科 文秋(新任)
北山 樋口 紀和(再任)
(新任※) 過去の町内会長経験者

サケ稚魚放流

JR発電所・漁協主催

東日本旅客鉄道(株)小千谷発電所と魚沼漁協協同組合が主催となり、河川環境と水利用の調和を図る取組の一環とし、2月24日の午前、川井本田地区の信濃川右岸河川敷でサケ



稚魚8万匹の放流が実施され、共催の小千谷市関係者と東京電力関係者が協力された。

なお、放流は2013年から始まり、南小学校で総合的な学習で信濃川と発電の仕組みなどをテーマに地域環境を学ぶ南小学校4年生10人と2年後に同様なテーマに取組む2年生9人に東小千谷小学校4年生38人が参加し、人工増殖した3〜4cmに成長したサケの稚魚を放流した。

近年サケの遡上数が激減しており、ベーリング海を回遊し4年後(3年〜5年)をかけて成長に成魚となり、過酷な旅を生き抜いた約0.1%が川に戻ってくるという説明を受けた後に、水際で優しくバケツを傾け「元気に大きくなって戻って来て」と願いを込めて稚魚の放流を行っていました。

クロカンスキー

【第80回国スポ】

【第80回国スポ】

冬期大会スキー競技会
青森県で開催された青の煌めきあおもり国スポ2026(冬季大会)スキー競技の2月16日に開催されたクロスカントリースキークラシカル成年男子C5kmに真人町栗山町内出身の藤巻謙一さん(52・小千谷消防・木津が2年ぶり3度目の出場をしました。

成年男子の対象者は36歳以上が対象で59名がスタートし、藤巻氏は若い選手を相手に力走し、20位以内を目標としていましたが、結果は35位でのゴールとなりました。

小千谷スキークラブの所属で市内中学生の指導も行っていますので、指導者としての今後の活躍も期待しております。(写真提供 藤巻謙一氏)



【第75回全国高等学校スキー大会クロカン競技】

2月3日〜8日に第75回全国高等学校スキー大会のクロスカントリースキー大会が十日町市吉田XC競技場で行われ、瀧澤日和さん(十日町総合2年)芋時が出場し、リレーでは2走として入賞に貢献しました。

女子5kmフリー 25位
女子5kmクラシカル 35位
女子3×5kmリレー 7位(2走)

【第9回新潟県小学生クロスカントリースキー大会】

【第9回新潟県小学生クロスカントリースキー大会】

藤巻里桜菜選手準優勝!!

2月22日小学生クロスカントリースキー大会が南魚沼市穴ノ上で開催され、学年別、クラシカル種目の25kmの5年女子で南小の藤巻里桜菜さん(本村)が準優勝となり、全日本小学生選抜出場権を獲得した。

【全国小学生選抜スキー大会】

3月7〜8日十日町市吉田クロスカントリースキー競技場において全国小学生選抜スキー大会のXC女子25kmクラシカル・フリーの両種目が開催され、南小5年の藤巻里桜菜さん(本村)が出場した。(対象小5、6年生)

女子25kmクラシカル 20位
女子25kmフリー 11位
※出場5年生のみではどちらも2位2種目で将来を見込む敢闘賞受賞



写真提供 おぢやファイトクラブコーチ

地方自治体の未来 (消滅可能性自治体)

3月2日の新潟日報「地域構想研究所長片山義博氏(鳥取県知事・元総務相)の「縮む日本の針路記事」が掲載されましたので紹介します。

地方自治体の現状を

どう見ているか

「人口減少という『静かな有事』に直面し、日本の多くの地方自治体

全国で2020年に比べ50年に20〜30代女性が半分以上になる市区町村の割合

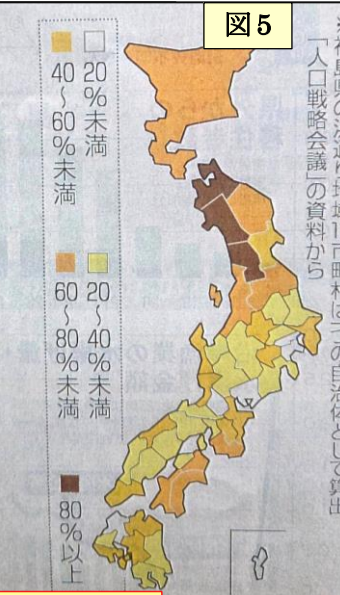


図5

1. 「9分類」の定義

図6

自治体の人口特性別9分類(自然減対策と社会減対策)

- A 自立持続可能性自治体: 65
- B ブラックホール型自治体: 25 (B-①:18, B-②:7)
- C 消滅可能性自治体: 744 (C-①:176, C-②:545, C-③:23)
- D その他の自治体: 895 (D-①:121, D-②:260, D-③:514)

封鎖人口	減少率20%未満	減少率20〜50%未満	減少率50%以上
移動仮定	A 自立持続可能性	D-① 自然減対策が必要	B-① 自然減対策が極めて必要
減少率20%未満			
減少率20〜50%未満	D-② 社会減対策が必要	D-③ 自然減対策が必要 社会減対策が必要	B-② 自然減対策が極めて必要 社会減対策が必要
減少率50%以上	C-① 社会減対策が極めて必要	C-②・③ 自然減対策が必要・社会減対策が極めて必要	C-③ 自然減対策が極めて必要 社会減対策が極めて必要

(注)縦軸および横軸の「減少率」は、若年女性人口(20〜39歳)の減少率

小千谷市の重要とされる人口減少策

2. 前回比較(消滅可能性)

- α: 前回消滅可能性自治体で、今回脱却した自治体 239
- β: 消滅可能性自治体に新たに該当した自治体(福島県の自治体を含む) 99
- γ-①: 消滅可能性自治体には変りはないが、若年女性人口減少率が改善 362
- γ-②: 消滅可能性自治体には変りはないが、若年女性人口減少率が悪化 283

3. 前回比較(若年女性人口減少率の増減)

- 今回(2020年→2050年)の若年女性人口減少率と、前回(2010年→2040年)の若年女性人口減少率を比較
- △①: 若年女性人口減少率が10%ポイント以上改善 455
 - △②: 若年女性人口減少率が10%ポイント未満改善 677
 - ▼②: 若年女性人口減少率が10%ポイント未満悪化 455
 - ▼①: 若年女性人口減少率が10%ポイント以上悪化 95

は存続の危機にある。

だが、その核心は単に人口が減ることではない。地域の課題を自律的に解決しようとする。『自分ごと』の意識が衰微していることにある。国からの指示や補助金を待ち続ける依存体質を脱却できなければ、地方に未来はない。

どう見ているか

「自治体が真の自立を果たすための改革が必要になる。」以下省略

人口減少時代の自治体の在り方は

一部省略

「居住移転を強制するのは困難だが、富山市や宇都宮市のようにRT(次世代型路面電車を軸に利便

性を高め、住民が自然に集まるように「ナッジソットと後押し」する工夫は有効だ。」

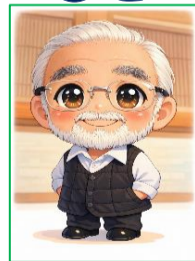
自己リソースを磨く

知恵もいる

「そこだ。そこには東京ばかりを見るのをやめ、足元にある自分たちの『資源』を再発見する視点を持つ

自治体名	分析結果			2050年人口(移動想定)			2050年人口(封鎖人口)			2020年		
	9分類	前回比較(消滅可能性)	前回比較(増減率の分類)	前回比較(増減率)	若年女性人口減少率(%)	若年女性人口	総人口	若年女性人口減少率(%)	若年女性人口	総人口	若年女性人口	総人口
新潟市	D-③		△②	△7.3	▼33.4	53,441	616,385	▼36.7	50,723	606,119	80,188	789,275
長岡市	D-③		△②	△5.3	▼38.5	14,744	197,104	▼29.6	16,897	200,353	23,989	266,936
三条市	D-③		△②	△0.6	▼48.5	4,146	63,029	▼29.4	5,687	67,615	8,052	94,642
柏崎市	D-③	α	△②	△2.2	▼49.1	3,278	51,217	▼27.6	4,656	57,125	6,435	81,526
新発田市	D-③	α	△②	△6.9	▼43.6	4,842	65,061	▼29.0	6,092	69,468	8,579	94,927
小千谷市	C-②	β	▼②	▼4.6	▼50.7	1,287	20,714	▼25.5	1,945	23,641	2,609	34,096
加茂市	C-②	γ-②	▼②	▼2.9	▼63.8	668	13,027	▼34.0	1,219	16,145	1,847	25,441
十日町市	C-①	γ-②	▼②	▼3.3	▼56.7	1,421	26,029	▼18.8	2,662	32,459	3,279	49,820
見附市	D-③		▼②	▼2.1	▼47.2	1,838	26,906	▼29.6	2,452	28,362	3,483	39,237
魚沼市	C-②	γ-①	△②	△1.0	▼59.3	1,044	18,436	▼24.7	1,931	23,326	2,564	34,483
南魚沼市	D-③		△②	△0.6	▼46.2	2,566	35,646	▼26.5	3,506	40,033	4,769	54,851

真人地域に願うこと (地域づくり支援員)



「このままでは、自治体は落ちるところまで落ちる。自分たちの町を自分たちで切り盛りするという自治の原点に立ち返る。それ以外に、今の難局を乗り越えるすべはない」

○自治体を地域として読み替えたときに、目標は高いですが地域づくり支援員としてやろうとしていた基本のことが記述されていました。4月からこの仕事に区切りをつける時期に気持ちのスッキリとしました。最近の小千谷市長も危機感から知恵を出して変えて行くこととする気概が見られます。

国県や市よりも小地域の中山間地域ほどその現象は早く訪れており、「何もしない」の選択よりも問題・課題解決に向けて「自分ごと」とし、「これからも「みんなで話合い、みんなで決めて、みんなでやる!!」そのためのご理解とご協力を次の支援員にお寄せください。(渡邊良平)

地方自治体「持続可能性」の分析

図7(移動想定)で、若年女性人口(20〜39歳の人口)が減少し続ける限り、出生数は低下し続け、総人口の

減少に歯止めがかからない。人口減少のスピードが50%以上の急減地域では、70年後には2割、百年後は1割程度まで減少。このような地域は最終的には消滅する可能性が高い。30年間で50%以上減少自治体を消滅可能性自治体」としている。「封鎖人口」の仮定した推計データ(人口移動がなく、出生と死亡の要因で人口変化すると仮定した推計を活用し、封鎖人口の分析と移動傾向が一定程度続くとの移動仮定のもとでの推計比較により、若年女性の人口動向に影響を与えている要因が構造的(図6)に分かり、地域特性に応じた人口減少策の重要性が明らかに

お知らせ

①真人駐在所の早川駐在所長は、諸般の都合により令和8年度も引き続き駐在業務を継続し、6年目の春を迎えます。引き続き住民皆様のご協力をお願いします。

②デイホームまつり

寒く厳しい冬もようやく終わり、春の気配を感じる頃となりました。冬の期間中は家で過ごすことが多かったですか、デイホームに参加して話したり飲食したりしながら楽しい時間を過ごしてみませんか。スタッフ一同お待ちしております。

【編集後記】

地域づくり支援員として住民の皆様には大変お世話になりました。地域のご繁栄と皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。(渡邊)